

以上の実践例（観点別評価表も含む）は、瀬上小学校の協力により、校内研究会の場を、小学校体育講座のために提供していただいたものである。

観点別評価表は、瀬上小学校の校内研究における事後研究の資料を掲載した。表中の評価得点欄の( )で示した数は、講座参加者（28名）の事後研究からまとめたものである。この数の相違が、授業研究における「2-1-2方式」の良さなのである。評価の相違は、見解や理解の相違であり、教師の指導観

の相違である場合もある。

評価の相違点に焦点をあて、事後研究を進めることにより、フィードバックの観点が明確になる。

授業改善のための評価は、「児童・生徒に対する評価」と「指導のための評価」を理解し、活用することが必要である。体育における授業研究は、これまでの、教材教授方法的なものから、目標達成方法的な方向を見いだしてゆくことが重要であると思われる。

観 点 別 評 価 表

No.	観 点	評 価 得 点 (21人中)			抽 出 児 (上 位)			(女)	抽 出 児 (下 位)			(男)
		-1	0	+1	観 察 記 録	-1	0		+1	観 察 記 録	-1	
1	①ねらいをつかみ、力いっぱい運動	31 (1)	15 (17)	3 (10)	○体育は楽しくてしようがないというように意欲がみなぎっていた。 ○ていねいにしっかりとやっていた。			○	○	○仲間についてゆくのがやっとな。 ○動きが正確でない。	○	
2	①課題を明確につかむ。	4 (2)	14 (19)	3 (17)	○「やるぞ」という意欲を表すように挙手していた。			○	○	○視線(点)が定まらない。 ○課題がはっきりしないようだった。	○	
3	①課題を明確につかみ運動	3 (2)	15 (15)	3 (11)	○模範演技を指名され、大よろこびだった。			○	○	○疲労が早く、しっかり行っていない。	○	
4	③仲間との協力楽しく運動	2 (4)	16 (18)	3 (16)	○馬跳びは、よく協力して行っていた。 ○楽しそう、汗をかいて本気でやっていた。			○	○	○しっかり馬になれなかった。		○
5	①課題をもって練習 ①踏み切り→跳び越し	1 (2)	17 (13)	3 (13)	○課題はよくつかんでいる。 ○変容はあまりない。			○	○	○踏み切りがやっとなだった。	○	
6	②自分の力を知り ②より高次のめあて	1 (4)	14 (17)	6 (7)	○コンセプトを見てから見ちがえるようにうまくなってきた。 ○着地良 ○模範演技を指名された。			○	○	○教師から課題について助言をうけた。 ○意欲はあまりもり上がらない。	○	
7	⑤安全に注意して練習	0 (2)	14 (16)	7 (11)	○とてもしっかり行っていた。			○	○	○安全第一か、思い切った練習はしていなかった。	○	
8	④仲間と協力 ③楽しく運動	2 (3)	14 (21)	5 (4)	○とても楽しそう			○	○	○ちゅうちょした反応だった。 ○学習は「楽しかった」と答えた。		○
9	⑥課題解決の ④自己評価	1 (6)	15 (19)	5 (3)	○「よくやった」と課題解決に満足げだった。			○	○	○しょんぼりしていたが、すぐ気をとりなおしていた。	○	

※ 評価得点欄の( )の数は、講座参加者による評価の結果である。

新指導要領が実施された（される）この時期に、授業研究の方法を理解し、授業の工夫や改善に役立て学習指導を充実してゆくことが大切である。

事後研究における話し合いの内容は、紙面の都合ではぶかせていただく。このことについて、詳細は当センター紀要、第39号を参照していただき事後研究における話し合いの進め方について理解いただきたい。

#### 4. おわりに

小学校における実践例から、特に、指導過程に位置づけた観点、観察記録、評価と観点別評価表の関連部分について明示した。授業の工夫や改善のための方法として役立てていただければ幸いである。

最後に、授業を提供していただいた瀬上小学校の先生方には厚く感謝の意を表する次第である。